



広島大学 (広島県)

持続可能な社会の実現に向けた教育理論と実践の統合をめざして

◇大学紹介

①大学の概要

1949年、広島大学は、当時原子爆弾により完全に破壊された広島市に、再生と平和への希望をもって設立された。現在も、長期ビジョンとして「多様性をはぐくむ自由で平和な国際社会の実現」を掲げ、持続可能な開発目標の達成に貢献することを目指している。西日本の教育系大学の代表格としての伝統を持ち、国立大学としては、全国有数規模の学生数を誇る。12の学部と5の大学院等があり、グローバル化、情報化、生涯学習及び国際協力へのニーズに対応した教育・研究が行われている。学部・大学院以外にも、高等教育研究開発センター、平和センター、森戸国際高等教育学院、原爆放射線医科学研究所などのユニークなセンター・研究所群を持つ。市街地を離れた広大な東広島キャンパスは、自然に恵まれ静かに落ち着いて勉学に打ち込める環境にある。



②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2024年度：1,831名 2023年度：1,726名

2022年度：1,638名

・過去3年間の教員研修留学生の受入れ実績

2024年度：11名 2023年度：12名

2022年度：8名

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

人間社会科学研究科・教育学専攻は、持続可能で平和な世界の構築を目指して、その基盤となる国内外の教育に関わる研究、実践及び人材育成に貢献する。教師教育デザイン学プログラム、教育学プログラムでは、教育諸科学を基盤として幼児教育、初等教育、中等教育、特別支援教育、高等教育のリーダーとなる教師、教師教育者、教育研究者を育ててきた。また、国際教育開発プログラムでは、特にアジア、アフリカ、中南米諸国における教育開発人材の育成に大きく貢献してきた。本教員研修留学生については、開始以来136名を受け入れた。人間や社会の持続的発展や平和の実現の観点から、新しい教育的価値や知識を創造する人材を育てていく。



②受入定員：30名

③奨学金支給期間：2025年10月～2027年3月



④研修コースの概要・修了要件

・日本語教育

最初の6カ月（10月～3月）に森戸国際高等教育学院で初級レベル週30時間の日本語予備教育を履修する。主指導教員が認める限りにおいて、この半年間の日本語教育を省いて直接に専門教育の1年半コース（必要に応じて中・上級レベルの「日本語・日本事情」履修）に入ることが認められる場合がある。

・専門教育

専門的教育期間の1年間（4月～3月）に、大学院の留学生と同様に指導教員による個別指導をうけて、各自の研修課題について深く研究する。研究や講義・演習の聴講等により週10時間以上の学修時間が必要である。研修の終わりに「研修修了報告書」を提出する。

・実習・見学・地域交流等

学校訪問や各交流会、歴史探訪旅行等の企画が行われている。



◇修了生へのフォローアップ

広島大学には、14か国・地域に22の海外拠点がある。また、教員研修留学生も含め、卒業・修了した留学生の同窓生ネットワーク組織として、9か国・地域で海外校友会が組織されている。今後、海外拠点と海外校友会、企業や関係機関は連携して、新たなプラットフォームを形成していく。その第一弾モデルとして、2022年に「広島大学校友会インドネシア・チャプター」が設立された。

教員研修留学生は、修了後も主指導教員と連絡を取り合い、母国で高度な専門的能力をもつ教育者として活躍している。

※ 海外拠点：中国（北京・上海・重慶・長春・秦皇島）、台湾、モンゴル、インドネシア（ジャカルタ・バンドン）、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、ロシア、ドイツ（ミュンスター、ザールラント）、リトアニア、メキシコ（メキシコシティ・グアナフアト）、ブラジル、ケニア、エジプト（カイロ・ガララ）

※ 海外校友会：中国（北京・上海・大連）、台湾、韓国、インドネシア（ジャカルタ・バンドン・スラバヤ・マカッサル）、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、マレーシア、ブラジル

◇宿 舎

日本語教育期間の半年間は、国際交流会館（広島大学の留学生用宿舎）に入居できる。専門教育期間は、広島大学協が管理する留学生アパートや、公的宿舎、民間アパートなどの選択肢がある。宿舎入居の申込みは、渡日前（7月頃）にオンラインフォームまたはEメールで行う。

なお、奨学金支給までの生活費、宿舎入居のための資金として、少なくとも10万円程度を用意しておくことが望ましい。

広島大学の留学生用宿舎（日本語教育期間のみ） 「国際交流会館（単身室）」

- 宿舎数：60室
- 宿舎費：家賃5,900円/月、共益費2,500円/月
ランドリー室利用料2,000円程度/月
- 宿舎設備・備品：勉強机・椅子・ベッド・洋服ダンス・冷蔵庫・ユニットバス
- 通学時間：教育学部棟まで徒歩20分、自転車10分
国際教育開発P棟まで徒歩10分、自転車5分
- ※ 前納する費用はなし。入居後、ゆうちょ銀行に口座を開き、銀行引き落としで宿舎費や光熱水料を支払う。



※ https://www.hiroshima-u.ac.jp/centers/welfare_facilities/international_house



広島大学生協が管理する留学生用宿舎（専門教育期間） 「広島大学推奨留学生アパート（単身室）」

- 宿舎数：26施設
- 宿舎費：家賃20,000～35,000円（共益費込）
＜入居時に必要になる費用＞
・入居月の家賃：日割計算
（20日以降の入居月は支払免除）
- ・礼金：家賃1ヶ月分（退去時に返金されません）
- ・敷金：20,000円（退去時に、必要の場合は損害賠償金を精算の上、残金を返金します）
- ・室内清掃料：10,000円
- ・保険料：8,160円（1年分の留学生保険）
- ・生協組合費：2,000円（修了時に全額返金します）
- 宿舎設備・備品：照明器具、ガスコンロ、冷蔵庫、洗濯機、ベッド、電子レンジ付き
- 宿舎周辺の生活情報・通学時間：
教育学部棟、国際教育開発P棟まで自転車10～20分
- ※ 入居説明会において組合費・保険料を先に現金で支払い、その他の初期費用は、コンビニで支払い。月々の費用は、広島銀行の口座を開設して口座振替。
- ※ 仲介手数料や事務手数料、保証料、管理料、契約更新料などの諸費用は不要。



※ 写真は一例です。
<https://hiroshima.yestart.univ-coop.net/ja/global>

◇問合せ先

＜担当部署＞

広島大学大学院人間社会科学研究科
教育学系総括支援室（大学院課程担当）

所在地：〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1-1
TEL: +81-82-424-7110, FAX: +81-82-424-7108
E-mail: kyoiku-in@office.hiroshima-u.ac.jp

＜ウェブサイト＞

広島大学 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/>
大学院人間社会科学研究科
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs>

